

新西町内会広報

発行責任者
小関 日出男

第33回新町っ子もちつき大会 「もちを食べてよい年に」3女兒がリリーススピーチ 12月1日開催

子どもと大人が昔ながらのもちつきを通して生き生きと楽しく交流を図る「新町っ子もちつき大会」が12月1日に開催された。33回を数える。子どもと保護者の161名を含む計204名が参加して開催された。

いつもは臼を3台並べていたが、老朽化したため今回は2台に減り寂しく感じたが、カラフルな「新町っ子もちつき大会」と大書された看板が掲げられたことから、賑やかな雰囲気醸しだされた。藤田青少年部長の司会で教頭先生、親父の会、PTA、岡本会長が紹介され、児童集会が行われた。



10個食べるぞ」と張り切っていた。4年生の仲よし4人組の女の子は、みたらし、黄な粉などそれぞれ好みの味にして食べていた。また、一人で食べていた子も「おいしい朝ごはんを

児童を代表して女兒三人がリリーススピーチ【写真】をし、「もちつき大会を作ってくれた町内会に感謝します。もちを食べ来年もよい年になるように」とお礼の言葉があった。

◆鏡餅づくりなど

餅つきの前半では町内会館に飾る鏡餅づくりが最初に行われ、次にお土産用もちが作られた。その後、子どもたちはお母さん方に混じってのし台に集まり、ちぎり丸めたり、餅を好みの味付けにして食べ始めた。

みたらしの餅を口に入れた小1の男の子は「おいしい。

食べてこなかったのの特においしい」と。車椅子の子を囲んだグループもあった。そんな中に前会長の駒形夫妻の姿もあった。「孫に引かれてきた。ここに来るとおいしい汁粉が食べられる」と。また空手着姿の子どもが遅れてきて「昇級試験があった」と元氣よく言っていた。今年も昨年より少々参加者が少なかったせいか、突き手返しも少なかった。お手伝いの方々には心持ち疲れた顔をしながら頑張っていた。



◆8月から10月にかけて行われた行事のピックアップ写真



ふれあい焼き肉パーティー (8月25日)



ふれあい焼肉パーティー会場での米寿者表彰式



グランドゴルフ大会 (8月18日)



ストレッチ実技研修会 (10月28日)



秋の町内清掃と防犯講話 (9月29日)



清掃後に開催された防犯講話

◆再生資源の回収にご協力を
1月は14日午前9時までに玄関先に出してください。
資源回収の収入は、町内会の貴重な財源となっています。通常は毎月第1火曜日。1月だけ「第2火曜日」です。

編集後記

1メートルを超える大物のサツキ3鉢を家の前に置いて行かれた。10月初めのことだった。冬を乗り越えるのに持て余しての事だろうが、自分にとっても負担のことだが、捨てることも出来ず冬囲いの中に入れて▼これも縁、春には植替えて盆栽への再生を目指してやろうかと、今は思う。町内に欲しい人がいればやってもいい。置き場がないのだ▼草花は花を咲かせ蜜で虫を呼び花粉を運んでもらい受粉する。鳥に実を食べさせ遠くに運ばせ芽を出して子孫繁栄する。動物は動けない植物に利用され働かされているのだ。そして酸素を吸って生きている。胸いっぱい空気を吸い込みうまいというが、それ廃棄物▼植物はすぐく頭がいい。来春にはサツキを植替えて、再生盆栽へ作り直し、水をやり、おまけに食べ物もやり働かされるのだ▼植物は心を癒すと勝手に思い込み身を粉にして働き尽くす。これって恋の奴隷? ハイイ春が待ちどおしいです。皆さんにもこの冬の向こうに春がある。▼今号では8月以降の町内会行事は、写真を中心にまとめてみた。(小関)